

令和7年9月5日発行

◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆

農業担い手メールマガジン臨時号（第433号）

◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆

<トピックス>

1. 世界初の難脱粒性・難穂発芽性を併せ持つソバ新品種「はるかみどり」
2. 極早生で良食味のニホンナシ新品種「蒼月（そうげつ）」
3. カンキツの高品質果実生産技術「シールドイング・マルチ栽培（NARO S. マルチ）」の適用可能な園地が拡大
4. 「北海道向けフェストロリウム品種『ノースフェスト』標準作業手順書」を公開
5. かぼちゃ新品種「栗のめぐみ2号」を育成
6. 「促成栽培トマトにおける天敵タバコカスミカメ利用によるタバココナジラミの密度抑制技術標準作業手順書」を公開
7. 農業WEEK・IPCSAブースへの来場登録案内
8. 「第5回農業分野における外国人材受入れセミナー」の参加者募集中！
9. <参加者募集>参入企業と農水省幹部とのオンライントークセッションを開催します

◆◆◆現場の皆さんへ◆◆◆

【1. 世界初の難脱粒性・難穂発芽性を併せ持つソバ新品種「はるかみどり」】

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構（以下「農研機構」）は、脱粒しにくく（難脱粒性）、穂発芽しにくい（難穂発芽性）特徴を併せ持つ世界初のソバ新品種「はるかみどり」を育成しました。脱粒および穂発芽はソバの収量と品質を大きく左右する要因であり、本品種の導入により安定した生産が期待されます。関東以南では春まき・夏まきの両作型に適性があり、2期作も可能です。

◇ プレスリリースはこちら（（国研）農研機構 Web）

→ https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/karc/170362.html

◇ 農研機構へのお問い合わせはこちら（（国研）農研機構 Web）

→ <https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省農林水産技術会議事務局研究企画課（担当：戦略的実装班）

TEL：03-3502-7407（直通）

【2. 極早生で良食味のニホンナシ新品種「蒼月（そうげつ）」】

農研機構は、極早生でミルキーな甘い香気を持ち食味に優れる青ナシ「蒼月」を育成しました。関東以南の地域では露地栽培で7月下旬から収穫できるため、ニホンナシの需要が高い7月下旬から8月中旬ごろに出荷できます。大果で極早生の青ナシ品種として普及が期待されます。

◇ プレスリリースはこちら ((国研)農研機構 Web)

→ https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nifts/170345.html

◇ 農研機構へのお問い合わせはこちら ((国研)農研機構 Web)

→ <https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省農林水産技術会議事務局研究企画課 (担当：戦略的実装班)

TEL：03-3502-7407 (直通)

【3. カンキツの高品質果実生産技術「シールディング・マルチ栽培(NARO S. マルチ)」の適用可能な園地が拡大】

農研機構は、カンキツの高品質果実生産技術である「NARO S. マルチ」を技術改良し、平坦地だけでなく階段畑でも適用可能とした「片側 S. マルチ」を開発しました。片側 S. マルチは、排水設計された階段畑の園地において、植列の山側のみに専用の NARO S. シートを埋設した上で、地表面をマルチシートで覆う技術です。福岡県農林業総合試験場、熊本県農業研究センターと共同で片側 S. マルチの実証試験を行い、樹に適度な乾燥ストレスを与え、従来のシートマルチ栽培と比べて糖度が約2度高い12度以上の高品質果実を安定生産できることを明らかにしました。片側 S. マルチは、平坦地向けの NARO S. マルチに比べて NARO S. シートの埋設に係る資材・労力のコストを半減できます。

本成果について、技術の具体的な導入方法と効果をわかりやすく解説した標準作業手順書(SOP)を農研機構のホームページで公開し、実際に片側 S. マルチを導入された生産者の声を掲載した動画をYouTube NARO channel で7月29日から公開します。

◇ プレスリリースはこちら ((国研)農研機構 Web)

→ https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nifts/170060.html

◇ 農研機構へのお問い合わせはこちら ((国研)農研機構 Web)

→ <https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省農林水産技術会議事務局研究企画課 (担当：戦略的実装班)

TEL：03-3502-7407 (直通)

【4. 「北海道向けフェストロリウム品種『ノースフェスト』標準作業手順書」を公開】

農研機構は、北海道での放牧や追播に適したイネ科牧草であるフェストロリウム品種「ノースフェスト」の標準作業手順書をウェブサイトで公開しました。

本手順書は「ノースフェスト」の越冬性や収量性、飼料品質などの品種特性および既存草地への追播利用を中心に栽培方法について解説したものです。

本手順書に記載された「ノースフェスト」の追播によって、植生の悪化したチモシー草地の生産性を回復することができます。

◇ プレスリリースはこちら ((国研)農研機構 Web)

→ https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/harc/169802.html

◇ 農研機構へのお問い合わせはこちら ((国研)農研機構 Web)

→ <https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省農林水産技術会議事務局研究企画課（担当：戦略的実装班）

TEL：03-3502-7407（直通）

【５． かぼちゃ新品種「栗のめぐみ２号」を育成】

農研機構は、朝日アグリア株式会社と共同でかぼちゃ新品種「栗のめぐみ２号」を育成しました。栽培初期のつるが短いことから管理作業を省力できるほか、着果位置が揃うため果実を見つけやすく、収穫作業時の負担を軽減できます。国産かぼちゃの需要が高い秋から冬季の端境期での出荷が可能で、果肉の糖度が高く粉質でホクホクとした食感の良食味のかぼちゃ品種として普及が期待されます。

◇ プレスリリースはこちら（(国研)農研機構 Web）

→ https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/harc/168585.html

◇ 農研機構へのお問い合わせはこちら（(国研)農研機構 Web）

→ <https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省農林水産技術会議事務局研究企画課（担当：戦略的実装班）

TEL：03-3502-7407（直通）

【６．「促成栽培トマトにおける天敵タバコカスミカメ利用によるタバココナジラミの密度抑制技術標準作業手順書」を公開】

農研機構は、「促成栽培トマトにおける天敵タバコカスミカメ利用によるタバココナジラミの密度抑制技術標準作業手順書」を7月14日にウェブサイトで公開しました。

本手順書では、トマト黄化葉巻病が問題となっている促成栽培トマト産地の普及指導員や営農指導員、生産者を対象に、技術の概要や導入手順、注意点を、実証事例とともに解説しています。

◇ プレスリリースはこちら（(国研)農研機構 Web）

→ https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nipp/169960.html

◇ 農研機構へのお問い合わせはこちら（(国研)農研機構 Web）

→ <https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省農林水産技術会議事務局研究企画課（担当：戦略的実装班）

TEL：03-3502-7407（直通）

【７． 農業 WEEK・IPCSA ブースへの来場登録案内】

スマート農業イノベーション推進会議事務局からお知らせです。

農業 WEEK@幕張メッセにて、スマート農業イノベーション推進会議（IPCSA、イプサ）はブース出展を予定しています。また、農機実演・体験イベント「スマート農業タッチ&トライ 2025@豊砂公園」を農業 WEEK と連携して同日開催します。両会場への皆様のご来場をお待ちしています！

◆ IPCSA とは

農業者を中心に、JA、関係団体、民間企業、高専・大学・研究機関、地方公共団体、農業高校・大学校等の多様なプレーヤーが1,000名以上参画している協議会です。スマート農業技術の開発と普及を推進するため、関係者間のマッチングや人材育成等の様々な活動を行っていきます。

◆ 農業 WEEK イベント概要

開催概要：日本最大級の農業・畜産の展示会。約1,000社の出展ブースや業界トップランナーによるセミナープログラムがあり、ビジネスマッチングや、最新トレンドの把握をすることができます。

IPCSA の出展内容：IPCSA 活動概要、IPCSA 会員とのマッチング希望の相談受付 など

開催日程：2025年10月1日（水）～3日（金）10:00～17:00

会場：幕張メッセ

来場対象：どなたでも可 ※ 18歳未満は引率が必要

入場料：無料

◇ 来場登録方法はこちら（農業 WEEK 「入場用バッジ登録フォーム」）

→ <https://www.jagri-global.jp/tokyo/ja-jp/register.html?code=1457794244416219-230>

◇ スマート農業タッチ&トライ 2025@豊砂公園の詳細はこちら（IPCSA Web）

→ <https://ipcsa.naro.go.jp/event/matching/2025/10/1046.html>

◇ お問い合わせ先

スマート農業イノベーション推進会議事務局

MAIL：jp_ipcsa_jimukyoku@pwc.com

【8. 「第5回農業分野における外国人材受入れセミナー」の参加者募集中！】

外国人材の円滑な受入れに向けて、農業者の皆様、市町村の外国人材担当等を対象として、スリランカの魅力や外国人材向けのe-ラーニングシステム「日本の農業を学ぼう」の活用方法等について紹介するセミナーを開催します。

セミナーの概要は以下のとおりとなっておりますので、奮ってご参加ください！

（セミナー概要）

日時：9月11日（木）14:00～15:15 ※ オンラインセミナー（Teams）

内容：

・「スリランカ人材の魅力紹介」

JICA 専門家 高野友里氏

・「e-ラーニングシステム『日本の農業を学ぼう』の登録及び活用方法」

一般社団法人全国農業会議所 柿川洋介氏

農林水産省 経営局 就農・女性課

・「海外ジョブフェアの紹介」

一般社団法人全国農業会議所 青木昂平氏

（申込締切）

2025年9月10日（水）17時まで

◇ セミナーの詳細はこちら（農林水産省 Web）

→ <https://www.maff.go.jp/j/keiei/foreigner/index.html#seminar>

◇ お申込みはこちら（農林水産省 Web 申込フォーム）

→ <https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/keiei/fukyu/250828.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省経営局就農・女性課（担当：岩崎、大沼）

TEL：03-6744-2159（直通）

【9. ＜参加者募集＞参入企業と農水省幹部とのオンライントークセッションを開催します】

農林水産省では、農業に参入したい企業と農業参入を広げたい自治体とのマッチング等を行う「農業参入フェア」の事前イベントとして、参入企業と農水省幹部とのオンライントークセッションを開催し、参入における課題の解決方法などをご紹介します。

■ 参入企業と農水省幹部とのオンライントークセッション

・ 日時：9月19日（金） 13：00～14：00（予定）

・ 内容：参入企業が語る、農業参入のポイント

農林水産省経営局長 小林大樹

農業参入事例企業 中森農産株式会社 代表取締役 中森 剛志 氏

農業参入事例企業 株式会社ローソン 商品本部 原田 卓郎 氏

モデレーター 日経ビジネス発行人 松井 健

また、農林水産省では、「他地域等から参入した事例に関する情報交換会」も開催しています。

第1回（8月8日） 農業参入した法人からの事例発表

第2回（8月26日） 農業参入を支援した地方公共団体からの事例発表

◇ 参入企業と農水省幹部とのオンライントークセッションの詳細はこちら（(株)日経 BP「農業参入フェア」Web）

→ https://special.nikkeibp.co.jp/atclh/ONB/25/maff_sannyu/

◇ 参加のお申し込みはこちら（(株)日経 BP「イベント&セミナー」Web）

→ <https://events.nikkeibp.co.jp/event/2025/nb0919onl/>

◇ 他地域等から参入した事例に関する情報交換会についてはこちら（農林水産省 Web）

→ <https://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/sannyu/kigyousannyu.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省経営局農地政策課（担当：有効利用 G）

TEL：03-6744-2152（直通）

農林水産省経営局経営政策課（担当：担い手企画班）

TEL：03-6744-2143（直通）

■ 経営局公式 Facebook ページ「農水省・農業経営者 net」

→ <https://www.facebook.com/nogyokeiei>

■ ご意見・ご質問はこちら

→ <https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/keiei/keiei/180817.html>

■ リンク URL の一部に PDF 形式のものがあります

メールマガジンに記載した URL で、一部 PDF 形式のものがあります。PDF ファイルをご覧いただくためには、農林水産省ホームページ「3 PDF ファイルについて」をご覧になり、「GetAdobeReader」のアイコンで AdobeReader をダウンロードしてください。

→ <https://www.maff.go.jp/j/use/link.html>



- 電子出版：農業担い手メールマガジン
- 発行日　：毎月 1 回発行
- 発行元　：農林水産省経営局経営政策課　担当：大庭

☆ このメルマガの配信申込み、バックナンバーはこちらから

→ https://www.maff.go.jp/j/kobetu_ninaite/n_hyousyou/hyousyou_merumaga.html

☆ このメルマガの配信変更、配信解除、パスワード再発行等はこちらから

→ <https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

